

整理番号	HT26166	分野	工学、歴史	(キーワード)3次元CG、自動生成
------	---------	----	-------	-------------------

岐阜経済大学

かつてあった古代の建物を3次元コンピュータ・グラフィックスで復元してみよう

先生(代表者)	杉原健一(すぎはらけんいち) 経営学部情報メディア学科・教授				
自己紹介	大手電機メーカーのマイコンの技術者として、勤めた後、教員に転向。GIS(地理情報システム)とCGを統合化して、「遺跡の復元」や「防災まちづくり」に役立つ「3次元都市モデル」を自動的に作るシステムの開発に取り組み、それに成功しました。大手コンサルタント企業2社と特許契約を結び、「商品化」されました。ハリウッド映画のCG制作者が発表する、CGのオリンピックといわれる Siggraph (シーグラフ)にも、4回発表しました。				
開催日時・ 主な募集対象	平成26年8月23日(土曜日)	(対象)	中学生・高校生	(人数)	30名
	平成26年12月20日(土曜日)		中学生・高校生		30名
集合場所・時間	岐阜経済大学 9号館 スタジオ実習室		(集合時間)	午前9時半	
開催会場 (集合場所)	岐阜経済大学 9号館 住所:〒503-8550 岐阜県大垣市北方町5-50 アクセスマップ: <a href="http://www.gifu-keizai.ac.jp/outline/location/index.html">http://www.gifu-keizai.ac.jp/outline/location/index.html</a>				
内 容					
映画やゲームの3DCG(3次元コンピュータ・グラフィックス)を、ただそれで遊ぶだけでなく、自分で作ってみませんか。地元の遺跡の前に立って、かつてどんな建物が立っていたか想像してみましよう。当時、高いビルのない時代に、ここには天にそびえる七重の塔が立っていて、多くの人が参拝に来たんだって。3DCGでそれを作ってみましよう。「自動生成システム」が、手のかかる制作作業を自動的に行います。最先端の「3DCGソフト」と「自動生成システム」はすごいぞ。					
スケジュール				持 ち 物	
<b>【第1回】8月23日(土)、【第2回】12月20日(土)とも同一日程・内容</b>				筆記用具。 あれば、USBメモリ。作った3DCGの作品を持って帰って下さい。	
9:30~10:00	受付(岐阜経済大学 9号館)			特 記 事 項	
10:00~10:30	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)				
10:30~12:00	【講義】 ①「3次元CGの基礎と3ds Maxの基本操作の習得」 ②「中国 西安 大明宮の歴史」(講師:杉原 健一)			皆さんと年齢の近いTA(ティーチング・アシスタント)の人が、近くにいる、分からないときはやさしく教えます。	
12:00~13:00	③「中国 西安 大明宮の歴史」(講師:崔 宇)				
13:00~15:30	【実習】 ①「プログラム」によって古代建物の3Dモデルを自動生成する実習(講師:佐々木喜一郎)				

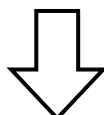
<p>②「古代の都」を走り抜けるビデオの制作実習 (講師:杉原 健一)</p> <p>15:30~16:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)</p> <p>16:00 終了・解散</p>	
--	--

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	〈総務課〉安田 天、梅原 慶子
住所：	岐阜県大垣市北方町5-50
TEL 番号：	0584-77-3505
FAX 番号：	0584-81-7807
E-mail：	soumu@gifu-keizai.ac.jp
申込締切日：	【第1回】平成26年8月18日(月)、【第2回】平成26年12月12日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
杉原健一	2010 ~ 2012	基盤研究 (C)	22560537	Web ベースの遺跡等の 3D モデルを自動生成する考古学、まちづくり支援システム



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。